

## 業種別業況

## 初の10連休、業種で明暗

令和元年  
第1回推進委員連絡協議会

山形商工会議所の令和元年度業種別推進委員の第1回連絡協議会が6月18日に開かれ、各組合の現況が報告された。主な報告は次の通り。

**立谷川工業団地(協)** 機械製造業をみると、売上は増加しているものの利益、受注量が減少している。依然として人手不足が続いている。

**山形鋳物工業団地(協)** 機械鋳物は前年に比べて売上は伸長するも、人手不足は慢性的な状況。工芸鋳物は、輸出商品(急須等)に対するフランスの食品規制をクリアし、これまで滞っていた分を取り戻すべく積極的に欧州との取引を行う。

**山形建設工業団地(協)** 受注見通しは9月頃までは例年同様だが、その先の見通しは不透明だ。現場では管理者不足が深刻。また、公共事業がPFI方式(社会資本の整備・運営を民間主体に移管する方式)での発注が増えており、財務的に安定している企業しか受注できなくなるのではと危惧する声がある。

**山形県佛壇商工業(協)** 秋田県の大手製造業者が今春倒産するなど全国的に業界の景況感は悪化している。技術継承への取り組みが急務。

**山形市中央建具(協)** 公共事業の分離発注からPFI方式が増えたことで先行き不透明に。

**(協)山形流通団地** 荷動きは昨年並みで推移しているが、燃料関係が2年半ぶりにマイナスとなった。また、物流コストの上昇が懸念される。

**山形トラック運送事業(協)** 燃料価格の高騰

や引っ越しシーズン終了後の極端な荷物不足による運行車両の減少、大型連休による稼働日数の減少により、組合の燃料販売量は前年実績を下回っている。県トラック協会跡地を中型トラックの共同駐車場へ整備中。

**山形青果商業(協)** 10連休によって市場は開いたものの取扱いは大幅ダウン、相場も低迷。

**山形県理容業(生同)山形支部** 10連休によって各店ともに売上は好調だった。人気上昇の冷やしシャンプーに、ネット販売を含めて期待。

**山形県美容業(生同)山形支部** 店舗数が増えメニューもヘアに限らず、ネイルやマツエク、増毛エステなど幅広い。組合員減少の歯止め・美容学校入学者増に向けて具体的な行動を行う。

**山形麺類食堂(協)** 従業員不足が組合員に共通している、また、後継者不在で閉店する店が数軒出てきている。なお、10連休によって各店舗ともに、これまでにない客でにぎわった。

**山形市管工事(協)** 山形市内の給水装置工事及び排水設備工事は、前年比1割程度増加している。平成30年度の組合の資材売り上げは、前年度比15%増となった。

**山形市中心商店街街づくり協議会** 5月のゴールデンウィークは、10連休やスプリングフェスティバルといったなどのイベントが行われ、集客・売上が好調に推移した。

令和元年度の業種別推進委員は次の通り。

▼田中茂義(立谷川工業団地協同組合)▼  
菊地規泰(山形鋳物工業団地同)▼渡部邦夫  
(山形建設工業団地同)▼大槻信也(山形県  
佛壇商工業同)▼須貝正(山形市中央建具  
同)▼細川伸一(山形打刃物工業同)▼長澤  
進(協同組合山形流通団地)▼古瀬豊宣(山  
形トラック運送事業同)▼長岡孝直(山形青  
果商業同)▼川田正彦(山形県理容業生活同  
業組合山形支部)▼岸満(山形県美容業同)  
▼寺崎利彦(山形麺類食堂同)▼佐藤正(山  
形市管工事同)▼佐藤克也(山形市中心商店  
街街づくり協議会) (敬称略)